



~13
1507





京傳子作
 百化帖準
 擬本草上
 通油町
 板元鶴屋



京傳



遠

1507

13
1507

日本何年系記

後之三年

本殿

様



生る百化鳥... 五十年昔... 善有... 擬本草... 彼... 大... 同...

類樹... 斯... 午... 萬... 一... 一...

是... 草樹鳥... 實... 朝... 燕... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

寛政十年戊午孟春

京傳子題







○この花の葉のさかすかに
あかりあかりのさかすかに
ゆめゆめさかすかにあかりあかりの
沖はねはねさかすかにあかりあかりの
奇草



小ぢいさかすかのさかすかに
つねふかすかのさかすかの
木小ぢいさかすかのさかすかに

○この花の葉のさかすかに
あかりあかりのさかすかに
ゆめゆめさかすかにあかりあかりの
沖はねはねさかすかにあかりあかりの
奇草

○この花の葉のさかすかに
あかりあかりのさかすかに
ゆめゆめさかすかにあかりあかりの
沖はねはねさかすかにあかりあかりの
奇草

豆まひ
丘小



菩提樹に
数珠かけ鳩



○この花の葉のさかすかに
あかりあかりのさかすかに
ゆめゆめさかすかにあかりあかりの
沖はねはねさかすかにあかりあかりの
奇草

白粉草小

ぬら鳥

和名

とみぢやう



○おしちいこの花は...
 ○ぬら鳥は...
 ○とみぢやうは...



まじやうふ
 かた
 り



○まじやうふ...
 ○かた...
 ○り...



かた



おん
思案櫻に
四十から
和名初老鳥



○おんあんとくういひん
さうの志あるいなり
花の落葉とて世の
海老とさうう細花云
さあかりてはちか
られけることにとり
たぐと花さばて人の
かきかうにあらると
あめーあめせお花
ちりて人のこの
はらちささうと
これまわりの本
しるはの
するけま
老本にあ
かつてその
の



おんあんとくういひん
さうの志あるいなり
花の落葉とて世の
海老とさうう細花云
さあかりてはちか
られけることにとり
たぐと花さばて人の
かきかうにあらると
あめーあめせお花
ちりて人のこの
はらちささうと
これまわりの本
しるはの
するけま
老本にあ
かつてその
の



てらあんとくういひん
さうの志あるいなり
花の落葉とて世の
海老とさうう細花云
さあかりてはちか
られけることにとり
たぐと花さばて人の
かきかうにあらると
あめーあめせお花
ちりて人のこの
はらちささうと
これまわりの本
しるはの
するけま
老本にあ
かつてその
の

おんあんとくういひん
さうの志あるいなり
花の落葉とて世の
海老とさうう細花云
さあかりてはちか
られけることにとり
たぐと花さばて人の
かきかうにあらると
あめーあめせお花
ちりて人のこの
はらちささうと
これまわりの本
しるはの
するけま
老本にあ
かつてその
の

枕小胡々



○さうさうりのまはりきよりちこの
 こころきらいにPをすくすくふにさうり
 むめのもうをうつるをまじりて衣い
 れむこの本のすうにて

日みまはれぬり
 の眠押のこころ
 黄小して白き
 いのちうなる
 文字のすいた
 ああうり
 化し人のあや
 ありとさうりて世の
 ありとさうりて世の



ねむりのうちねごとと
 りまかのおまじり
 むのさかき
 けいごご
 りんご
 せんご
 せんご
 せんご

笹
 平家蟹



○さくやんごふかりとひらぎ小ふん
 出るまよて花もまよふ
 和帝あり生ト
 根い源家の正と
 むうーきよりのは
 くこのわりをん
 きんごー
 いけのせふそと
 とめそのまそと
 あそひまやうり
 いけがふの目い
 かいさうごつあハ
 ひよめけらのご
 まいあそいあご
 このかみよこにゆ
 とこのますま
 小ゆへなり





